

令和5年度府中市立府中第一小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①学習が確実にできるようになるまで繰り返し練習したり、間違えたものを選んで練習したりすることに課題がある。
- ②学習が分からないときに、すぐに調べたり、学習方法を工夫したりすることに課題がある。
- ③自分の考えを伝えるために話の組み立てを工夫したり、他の人と話して考えを深めたりすることに課題がある。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①基礎基本の確実な定着に向けた指導。
- ②児童が、自らの学習内容の苦手なところを理解し、工夫して解決していくための学習の仕方の指導。
- ③学習課題の解決に向けて、考えを交流したり、協働したりして問題解決する指導。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- 1 学習内容の定着に向けて、粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返り、次に生かす児童。
- 2 学習に見通しをもち、自己の学習状況を理解して、学習方法を工夫する児童。
- 3 友達と協働して学習し、自分の考えを広げ深める児童。

(2) 目指す授業像

- 1 児童に付けたい力を明確にした授業。
- 2 学習課題を解決する方向性について見通しをもたせ、学びを振り返る授業。
- 3 児童が間違えたものや分からなかったことを工夫して学習したり、友達と考えを交流しながら協働して問題解決をしたりする授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	「書くこと」を扱う単元においては、既習の言葉や漢字を使うように指導したり分からない言葉を調べる時間をとったりする。	音楽	表現活動では、どのように表現したいかの思いや意図をもち、その思いを表現するために必要な知識や技能の定着を目指す。
算数	文章題を適切に読み取ることができるように指導し、知識・技能が定着するように授業内で反復練習を行う。	図画工作	表現したい思いを作品に表すための、技能の定着を目指す。発想を広げる素地を養うため、鑑賞活動に取り組む。
社会	資料の読み取り方を丁寧に指導して、社会的事象を的確に理解できるようにする。 問題解決の見通しをもち、振り返りを大切にして、新たな問題を見出したり実生活と結び付けて考えたりする。	家庭	学習内容と生活経験をつなげて考えられるようにし、技能の習得のためにスモールステップを踏んだり、個別指導を取り入れたりする。
理科	事象提示や観察、実験などの活動を充実させ、児童が目的意識をもって問題解決に取り組み、考えを表現できるようにしていく。	体育	個人差を減らすために、グループ学習を積極的に取り入れたり、目標を選択制にしたりするとともに、運動量を確保していく。
生活	他教科で学習したことを活用することで多様な方法による表現ができるようにしていく。 児童同士の意見交換を行い、多様な表現を学ぶことができるようにしていく。	外国語	児童同士や教師とのコミュニケーションを増やし、ロールプレイを取り入れることで、実用的な会話力を強化していく。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

知識の理解と定着を深める場面で、児童が自ら問題に取り組む機会を増やし、タブレットを活用して理解度や進捗を把握する。タブレットを活用した学習記録も行き、個別最適化を図る。